

第4学年 国語科 興味をもったところについて自分の考えを発表しよう
「動いて、考えて、また動く」(光村図書 4年上)

【公開授業】国語科学習指導案
日時：令和元年 5月 15日(水)
学級：4年
授業者：

1 単元の目標

- 筆者の考えを読み取るために、事実と意見の関係を捉えて、段落相互の関係を考えることができる。
- 文章の要点や細かい点に注意しながら読み、必要に応じて引用したり要約したりできる。
- 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方の違いに気づくことができる。

2 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識及び技能
・学習の見通しをもち、自分の経験や知識と照らし合わせて読むことに意欲をもっている。	・段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基にとらえることができる。(ア) ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約できる。(ウ) ・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(オ) ・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付く。(カ)	・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との關係について理解している。(2)ーア

3 単元計画

	時	単位時間の目標 (全9時間)	評価
第一次	1	3年生で学習した『言葉で遊ぼう』と本単元の説明文『大きな力を出す』の違いを比較し、文章構成の違いに気付く。	学習の見通しをもち、自分の経験や知識と照らし合わせて読むことに意欲をもっている。【関】
	2	単元の学習計画を立て、単元ゴールの見通しをもつ。	
	3	「大きな力を出す」を読み、文章構成や筆者の考えを捉え、興味をもったところについて自分の考えを書く。	筆者の伝えたいことの中心部分を見付けることができる。【読・ウ】 文章を読んで感じたことを伝え合うことができる。【読・オ】
第二次	4	「動いて、考えて、また動く」を読み、文章構成を捉える。	「大きな力を出す」の学習を想起しながら文章構成を捉えることができる。【読・ア】
	5 本時	双括型の文章構成のよさに気付き、整理して、文章の構成について考える。	文章の構成から筆者の書き方の意図に気付くことができる。【読・ア】
	6	第②～⑥段落を読み、事実と解説を読み分けるとともに、段落相互の關係について考える。	事実と解説を読み分けそれと筆者の考えとの關係を捉えている。【読・ア】【読・ウ】
	7	第⑦段落の役割について考え、文章全体の構成を捉え直す。	第⑦段落の役割を考えるとともに、文章全体の構成を捉え直し、段落相互の關係について考えることができる【言・(2)ーア】
第三次	8	興味をもった部分を引用し、それに対する自分の考えを双括型でまとめる。	自分の興味の中心となる部分を読み、引用しながらまとめている。【読・オ】
	9	書いたものを発表し合い、一人一人の感じ方や考え方の違いに気づく。	文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付く。【読・カ】

<p>1 単元名 興味をもったところについて自分の考えを発表しよう 教材名 「動いて、考えて、また動く」</p>	<p>4 本時の目標 双括型の文章構成のよさに気付き、整理して、文章の構成について考える。</p> <p>5 評価基準 文章の構成から筆者の書き方の意図に気付くことができる。</p> <p>6 本時の展開（4/9）</p>	
<p>2 児童の学力の状況 児童は3年生で、はじめ・中・終わりや全体を通して段落のつながりを意識して読むことを学習している。説明文を読んで自分の感想をまとめたり、筆者の説明の仕方について考えたりする活動も行ってきている。日々の授業では、自力解決や振り返りで自分の考えをもち、自分の言葉でしっかり書くことができる児童が多く、一定量を書くことができる。しかし、総合学力調査の結果から、説明文の構成・展開について問われている問題においては、正答率が65.5%でD層の児童は57.1%だった。そこで、目的に応じて、文章の構成を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む指導が必要であると考える。</p> <p>3 教材観 本単元では、説明的文章の基本的な構成に対する理解を深めるとともに、段落相互の関係や、文章全体における各段階の役割を考えることのできる教材である。 この教材は双括型で書かれた文章であり、「中」の部分が「事実」と「解説」により構成されている。そこで、単元の導入では3年生で学習した『言葉で遊ぼう』を読み、第一教材『大きな力を出す』と比較し、これまでの学習との違いに気付く。比較をさせることにより、事実と説明の区別や、文章の引用・要約、文章全体の構成を捉えることから段落相互のつながりを考える力を付ける。 本時では、双括型の効果について気付くことをねらいとする。前時までの学習では、ベン図を活用して比較したり、教材文を色分けしたりして学習しているため、文章構成を確かめる際の手立てとして役立てる。自力解決・班学習では、まなボードを活用し、短い言葉で考えをまとめる。全体学習では出た意見から考えられることを話し合い、学習に深まりをもたせたい。筆者の構成の工夫を考えながら読むことで、日常で文章を書く際にも役立て、活用していきたい。</p>	<p>学習展開 ・本時に願う児童の姿</p> <p>導入 11:15</p> <p>課題設定 11:18</p> <p>問いの共有 11:35 ・シラバス ・キーワード ・言語わざ</p> <p>自力解決 11:25</p> <p>班学習 11:32</p> <p>全体学習（考察） 11:37</p> <p>まとめ 12:02</p> <p>振り返り 12:05</p> <p>1. 前時までの学習を振り返る。 ○前の時間に学習したことをペアで振り返りましょう。</p> <p>筆者が伝えたいことをはじめと終わりにくり返し書いているのはなぜか話し合い、文章の構成を考えよう。</p> <p>2. 第①段落と第⑧段を音読し、活動の見通しをもつ。</p> <p>自力解決（7分） 班学習（5分） 全体学習（15分） まとめ（3分） 振り返り（5分）</p> <p>自力かいつ・班学習 ノートに短い言葉で書き、班でまなボードに書く。 全体学習・考察（グループ→みんな） 出てきた意見を見て、気付いたことを話し合い、考えられることを考察する。</p> <p>3. 自力解決をする。 ○筆者が伝えたいことを第①段落と第⑧段落でくり返し書いているのはなぜか考え、ノートに書きましょう。 ・大事なことから。 ・大切ということを伝えるため。 ・強調する。 ・説とく力をもたせるため。</p> <p>4. 班で伝え合う。 ○気付いたことを班で伝え合い、まなボードに書きましょう。</p> <p>5. まなボードに出ている内容から筆者の書き方について考えられることを2つのグループにわかれて話し合う。その後共有し、全体で考察をする。 ○筆者がなぜ伝えたいことをはじめと終わりで繰り返しているのだと思いますか。 ・「読む人に伝えるため」です。理由は、『大きな力を出す』の時と同じような書き方をしているからです。 ・「説とく力をもたせるため」です。○○さんが言ったように、『大きな力を出す』と同じ書き方で、相手に自分の意見を説とくする時に書く書き方で書かれているからです。 ・「強調するため」です。第①段落と第⑧段落は同じようなことが書かれていますよね。しかし、文章をよく読むと、全部同じではないことがわかります。最後はよびかける文も書いていて、読む人のことを考えていると思います。</p> <p>6. 学習のまとめをする。</p> <p>筆者が伝えたいことをくり返し書いているのは、 ・読む人に伝えたいことをより伝えるためです。 ・自分の意見に説とく力をもたせるためです。 ・大事なことを強調するためです。</p> <p>7. 学習の振り返りを書く。 ・筆者がはじめと終わりに伝えたいことを2回書いているのは、読む人に大切だということをよりわかってほしいからだということが分かりました。○○さんの「伝えたいことをくり返し書くことで読んでいるとちゅうで何が大切か考えながら読める。」という考えはなるほどなあと思いました。わたしは、自分の意見を強く伝えたいときにこの形で書くといいと思います。</p>	<p>・願う児童の姿に迫る手立て ◇ 評価</p> <p>・前時の学習の振り返りをする。 (ぶつぶつタイム)</p> <p>・キーワード だん落 文章 くり返し 筆者 はじめ 中 終わり ・ハンドサインチェックを行い、自力解決ができるようにする。</p> <p>・第一教材で比較した二つの説明文『言葉であそぼう』『大きな力を出す』や比較したベン図等を掲示しておき、文章構成を確かめる時に役立てる。 ・短い言葉でまとめ、説明は文章を使って行うよう伝える。</p> <p>◇文章の構成から筆者の書き方の意図に気付くことができる。【読・ア】（発言・ノート）</p> <p>・キーワードを使ってまとめをするよう伝える。</p> <p>・振り返りの視点を示す。 ・自分がどのような文章を書く時に双括型が使えるか考えさせる。</p>

